

テーマ	簿記の基礎（Ⅰ）：正しい現金の金額（1,167,500円）をもとに修正
-----	-------------------------------------

1. 【第1回資料】9. 会社の設立・開業の続き

- (7) 手元には現金 1,167,500円と備品 500,000円、商品 200,000円（@1,000円×200個）がある。
- (8) 今月も継続して商品の仕入・販売を行うことにした。手元の現金で商品 1,100,000円（@1,000円×1,100個）を仕入れ、先月同様に@2,000円で販売することにした。
- (9) 1ヶ月が過ぎ、努力の末@2,000円で先月の1.5倍の1,200個を販売することができた。なお、700個は現金による販売で、500個は来月支払ってもらうことにした。
- (10) この時点での今月の儲け（利益）は（ ⑦ ）円だった。
- (11) 今月も銀行へ5,000円の利息を現金で支払い、1ヶ月のバイト代として60,000円を現金で支払った。利息や給料を考慮した儲け（利益）は（ ⑧ ）円だった。
- (12) 利益の半分を出資してくれた10人に（ ⑨ ）円ずつ均等配分した。

問1.（ ⑦ ）～（ ⑨ ）の金額はいくらですか。

問2.（11）時点の財政状態（何がいくらあるか）と経営成績（いくら儲けたのか）を示す表を作成してください。